

5月17日(日曜日)「求道者への教訓」

【新改訳 2017】

## Ⅱ列王記 5・1－14

「……そこで、ナアマンは銀……と、金……と、晴れ着……とを持って出かけた。……エリシャは……言った。『ヨルダン川へ行って七たびあなたの身を洗いなさい。……』しかしナアマンは怒って……言った。『何ということだ。私は……主の名を呼んで……直してくれると思っていたのに。』(5－11節)

あえて昨日と同じ個所を読みます。ここには、たくさんのおもしろい教訓があるからです。

- ① 将軍はたくさんのおみやげを持って神の人の所に行きました。しかし、無意味でした。②将軍はどのようにして救ってもらえるかについて、自分の考えで決めていました。しかし神の人の方法が違ったので、彼は怒って去ろうとしまし

た。私たちも時々同じようなことをしていない  
でしょうか。③偉い人が、自分のしもべに諭され  
て、神の人の言うとおりに、七たび汚い川の水に  
身を浸しました。メソツ丸つぶれ！でも、その時  
まったく癒されたのです。救いも癒しも、ただ主  
の恵みによるのです。この話でいろいろな人が  
救いへと導かれています。救いは謙遜に求める  
べきことを教えられます。

～祈り～

主よ。あなたに救いを求めながら、自分の考えで  
決めたことを要求し、そうならないと不信や不満  
を表してしまう私をおゆるしてください。あなたの  
方法を受け入れられますように。

**【学びのために】**

しばしば信仰生活で不満をもつ時は、自分の考え  
のように神が答えてくださらないと思う時です。  
ナアマン将軍と同じように、救いを求めながらも、  
自負心や自己中心の考え方にこだわる私たちが

あることを自覚し、注意したいものです。